

第2回がんプロフェッショナル研修会

「AYA(Adolescent & Young Adult)世代のがん患者に対する薬剤師のかかわり」

〔講演〕／〔症例検討〕／〔SGD〕症例スモールグループディスカッション

- * 終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。
- * プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。

講座情報

AYA(Adolescent & Young Adult)世代のがん患者に対する薬剤師のかかわり

《学習到達目標》

- ・がん化学療法の副作用のマネジメントにおける副作用の鑑別(発現時期、症状、発現リスク)を理解する
- ・AYA世代患者さんに関連する幅広い年代に共通する整容・就労などの問題を理解する
- ・実臨床でのAYA世代がん患者さんの薬学的ケアにおいて、薬剤師の視点に基づいた処方提案を習得する

「AYA 世代のがん治療と長期フォローアップ」

平井 麻衣子

日本のAYA世代におけるがん患者数は年間およそ2万人であり、がん患者全体の約2%と報告されている。近年治療成績が改善している小児がんや成人がんと比べてAYAがんは改善率が低く、この背景として、症例数が少ないため情報の蓄積が困難であること、がん種が多種多様であり希少がんの割合が多いこと、AYAがんを専門的に診療する施設が少ないこと等が挙げられる。AYAがんが抱える問題はこのような医療的側面だけに限らず、この世代特有である身体的、精神的、社会的に変化に富んだ時期であることも関わってくる。AYA世代は就学、就職、結婚、妊娠、出産など多くのライフイベントが訪れる時期に当たり、がん治療以外にも多岐にわたる悩みやニーズが存在するため、これをも支援しながら診療に当てる必要がある。AYA世代のがん治療と治療後の長期フォローアップについて実際の症例を通してその問題点や課題、当院での取り組みについて紹介する。

《学習到達目標》

- ・AYAがんは成人がんと比べて稀であり、子宮がん、乳がん、造血器腫瘍などが多い傾向にある。
- ・AYAがんには希少がんや肉腫の頻度が成人がんと比べて高く、標準的治療が確立されにくい。
- ・AYA世代は精神的、社会的に変化に富んだ時期であり、がん治療以外にも多岐にわたる悩みやニーズが存在し、それらを両立出来るように配慮しながら治療を行う必要がある。
- ・AYAがん治癒後、長期生存が見込まれるため、晚期合併症に配慮し長期的なフォローアップが必要がある。

「AYA 世代がん患者のこころのケア」

平山 貴敏

AYA世代は、子どもから大人へと移行する重要な時期であると同時に、就学・就労・恋愛・結婚・出産など人生において重要なライフイベントが多い時期である。この時期のがん罹患に伴う衝撃は計り知れず、病気や治療のみならず様々なアンメットニーズが生じる。細やかなこころのケアが欠かせないが、AYA世代の患者がいきなり精神科医や心理士に相談するのはハードルが高く、抵抗感を示される場合もある。従って、日頃から患者に接する機会の多いプライマリケアチームによる基本的なこころのケアの実践が大切になってくる。今回、薬剤師の皆さんが日々の関わりの中で実践できるこころのケアのポイント

と当院の取り組みについて概説する。

《学習到達目標》

- ・AYA 世代がん患者の課題・ニーズを理解する
- ・AYA 世代がん患者の話を聞く際に気を付けるポイントを理解する
- ・AYA 世代がん患者のこころのケアで大切なポイントを理解する

「薬剤師目線で考える AYA 世代患者との関わり」

宇田川 涼子

AYA 世代患者は、学校・仕事・子育てなど、様々なライフスタイルを過ごしながら治療を行っている。薬物治療となると、薬剤師は治療開始前から患者と関わることになり、様々な思いを引き出す役割を果たすことになることも多々ある。薬剤師は、抗がん薬の説明を行う都合上、妊孕性や外見変化についてなどの質問を受けることがしばしばある。詳細な情報提供は専門家に依頼することはできるが、そのような繊細な相談にいつ直面しても対応できる心構えが必要であると考えられる。また、個人の生活リズムに合わせて、いかに支持療法薬をうまく使いこなすかを考え、提案していくことが薬剤師の役割であると思う。さらに最近では、高額な治療費になることも多く、就労状況を把握し、高額療養費制度についても案内できるスキルが必要である。薬物療法に関連して様々な問題点が生じるため、それらを包括的にケアするためには薬剤師の役割は大きいと思われる。

「〔症例検討〕AYA 世代患者に対して、薬剤師として何ができるかを、課題症例を通じて考える～30 代の乳がん患者の事例を通して～」

小田 泰弘

AYA 世代の乳がん患者を通じて、がん薬物治療と副作用マネジメントの学習をします。乳がん患者のがん薬物療法を経験されたことがあると思いますが、AYA 世代についての知識はいかがでしょうか？AYA 世代のがん患者は治療と就労・整容・妊孕性など、ライフステージや状況に応じたサポートが求められます。今回、AYA 世代のがん患者さんが抱える問題に対して薬剤師として何ができるか？AYA 世代のがん患者への理解を深めるとともに薬剤師が貢献できる副作用マネジメントとは何か？を考える場にしたいと思います。乳がん薬物治療によって起こる副作用マネジメントと AYA 世代という 2 つのキーワードに焦点を当て、みなさまと実践的な学習ができればと思います。

「がん生殖医療の最前線 卵子・受精卵・卵巣凍結法」

山田 満穂

思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult: AYA) の悪性腫瘍に対する治療後の性腺機能不全や妊孕性 (妊娠する力) の低下が大きな課題となっています。そこで妊孕性を温存する方法として、悪性腫瘍治療の前に未受精卵子 (卵子)、受精卵 (胚)、または卵巣組織を凍結・保存し、治療終了後で妊娠可能になった段階で、保存している卵子、胚、卵巣を用いて妊娠を目指す方法 (妊孕性温存療法) が試みられています。本講演では、AYA 世代の患者にとって、希望をもって病気と闘い、将来子どもを持つことの希望を繋ぐ大切な試みになる妊孕性温存療法について、皆様と学びを深めたいと思います。

《学習到達目標》

がん患者にとって、治療による将来の妊娠・出産への影響は重大な関心となっている。サバイバーシップ向上にむけた妊孕性温存は重要な課題であり、がん治療前の卵子・受精卵・卵巣組織の凍結・保存が試みられている。

講演者情報

「AYA 世代のがん治療と長期フォローアップ」

平井 麻衣子

日本大学医学部附属板橋病院 小児科・新生児科 助教

プロフィール

学歴

1999 年 日本大学医学部入学

2005 年 卒業

2008 年 日本大学内科学系小児科分野大学院入学

2012 年 卒業

学位

2012 年医学博士取得

資格

2005 年 医師免許取得

2010 年 小児科専門医取得

2012 年 がん治療認定医取得

2013 年 日本血液専門医取得

2014 年 新生児蘇生法「専門」コース修了

2015 年 小児血液・がん専門医取得

2015 年 造血細胞移植認定医取得

2015 年 小児科指導医取得

職歴

2005 年 日本大学医学部附属板橋病院 初期臨床研修

2007 年 日本大学小児科 専修医

2008 年 日本大学小児科 研究委員

2009 年 横須賀市立市民病院小児科 医員

2010 年 日本大学医学部附属板橋病院小児科 専修医

2014 年 日本大学医学部附属板橋病院 助教

2015 年 日本大学医学部附属板橋病院 病棟医長

2016 年 日本大学医学部附属板橋病院 救急担当医長

所属学会

日本小児科学会、日本小児血液・がん学会、日本血液学会、日本造血細胞移植学会、日本輸血・細胞治療学会、日本小児感染症学会、日本緩和医療学会、日本小児保健学会

その他

NPO 法人 スマイリングホスピタルジャパン 理事

主要著書

- ・こどものがんと治療 第3章 『化学療法』p16-23
第7章『①白血病・悪性リンパ腫』P47-59
第7章『③神経芽腫』P68-74 メディカ出版
- ・小児白血病の晩期合併症 日本臨牀増刊号「白血病学(下)」日本臨床
- ・小児白血病患者の晩期合併症. 内科 p277-281 南江堂
- ・鼻出血.小児内科 p1830-1832. 東京医学社

「AYA 世代がん患者のこころのケア」

平山 貴敏

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科

プロフィール

経歴

- 2010 年 3 月 三重大学医学部医学科卒業
- 2010 年 4 月 東京大学医学部附属病院 初期臨床研修医
- 2012 年 4 月 東京大学医学部附属病院 精神神経科 入局
JR 東京総合病院 メンタルヘルス・精神科 専攻医
- 2013 年 4 月 東京都立松沢病院 精神科 医員
- 2014 年 4 月 東京大学医学部附属病院 精神神経科 特任臨床医
- 2016 年 4 月 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 医員(現職)

専門

精神腫瘍学(サイコオンコロジー)、リエゾン・コンサルテーション精神医学、
臨床心理学

資格・専門医等

日本精神神経学会精神科専門医・指導医、精神保健指定医、臨床心理士、
日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医、日本医師会認定産業医

学会活動

日本総合病院精神医学会(若手リエゾン精神科医の会(JSOUL) 副委員長、広報委員会広報委員)
日本サイコオンコロジー学会(多職種支援セミナー委員、せん妄小委員会 委員、登録精神腫瘍医制度委員会 委員)
日本緩和医療学会 教育セミナーWPG 員

主要著書

医療従事者が知っておきたい AYA 世代がんサポートガイド, 金原出版, 2018 年(分担執筆)

<https://www.kanehara-shuppan.co.jp/books/detail.html?isbn=9784307004831>

参考サイト

国立がん研究センター中央病院 AYA 世代のがんについて

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/AYA/index.html>

「AYA 世代がん患者のこころのケア」

宇田川 涼子

国立がん研究センター中央病院 主任

プロフィール

2006 年 3 月 北里大学大学院 臨床薬学コース 修了

2006 年 4 月 国立がんセンター中央病院(現:国立がん研究センター中央病院)

薬剤師レジデント 1 期生として入職

2009 年 4 月 国立がん研究センター中央病院 正職員採用

2013 年 7 月 国立がん研究センター東病院へ異動

がん専門薬剤師認定取得

2015 年 7 月 国立がん研究センター中央病院へ異動

2020 年 4 月 国立がん研究センター中央病院 病棟薬剤主任に昇任

現在に至る

[[症例検討]AYA 世代患者に対して、薬剤師として何ができるかを、課題症例を通じて考える～30 代の乳がん患者の事例を通して～]

小田 泰弘

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 薬剤部

プロフィール

2003 年 3 月 明治薬科大学薬学部衛生薬学科 卒業

2005 年 3 月 明治薬科大学大学院博士課程前期 臨床薬学専攻 修了

2005 年 4 月 国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部 入職

2020 年 9 月 病棟薬剤科 主任

参考文献

乳癌診療ガイドライン治療編 2018 年版 第 4 版,編集 日本乳癌学会,金原出版,2018 年

患者さんのための乳がん診療ガイドライン第 6 版,編集 日本乳がん学会,金原出版,2019 年

参考サイト

国立がん研究センターがん情報サービス

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/diagnosis/aya.html

国立がん研究センター中央病院ホームページ

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/AYA/index.html>

厚生労働省ホームページ(小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-kenkou_496566.html

「がん生殖医療の最前線 卵子・受精卵・卵巣凍結法」

山田 満穂

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 専任講師

プロフィール

2002年 慶應義塾大学医学部卒業

2006年 独立行政法人国立成育医療センター研究所 流動研究員

2007年 独立行政法人国立成育医療センター研究所 共同研究員

2010年 慶應義塾大学大学院医学研究科博士過程卒業(医学博士)

2010年 慶應義塾大学医学部 助教

2013年 ニューヨーク幹細胞財団研究所 博士研究員

2016年 慶應義塾大学医学部 助教

2019年 慶應義塾大学医学部 専任講師

現在に至る

主要著書

小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017 年版 金原出版

Oktay K, Harvey BE, Partridge AH, et al. : Fertility Preservation in Patients With Cancer: ASCO Clinical Practice Guideline Update. Journal of clinical oncology : official journal of the American Society of Clinical Oncology. 2018;36(19):1994-2001.

「医学的適応による未受精卵子, 胚(受精卵)および卵巣組織の凍結・保存に関する見解」および「精子の凍結保存に関する見解」 日本産科婦人科学会